

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

テクノロジーで建設業界をアップデートする。

建設投資
75.5兆円中小建設企業数
約48万社

② 中長期の経営戦略

1. CAREECON Platformの…

建設DXプラットフォームとして、オウンドメディア構築・CAREECON・採用管理・施工管理・経営管理等を統合提供。

2. 地域拠点の展開

東京・大阪・福岡から全国への支店展開を拡大し、未開拓顧客へのアプローチを強化。

3. 戦略的提携による販路拡大

管材・住設資材等の総合商社と業務提携し、既存顧客ネットワークへの販路を拡げる。

4. All in One化への進化

AI機能実装や経営管理機能追加で、統合型ビジネスツールの利便性を向上させ競争優位を確保。

③ 対処すべき課題

① 認知度向上と顧客基盤拡大

- ・ CAREECON Platformの機能やソリューションの認知度向上が重要課題。
- ・ 各種マーケティング活動や広報活動を通じた顧客基盤拡大に取り組む。

② プロダクト開発の計画推進

- ・ 追加機能開発やUIの改善等、計画的な開発進捗管理が必要。
- ・ 既存顧客の離反低減と新規顧客獲得に向けた継続的な改良が必須。

③ 組織体制の整備と人材確保

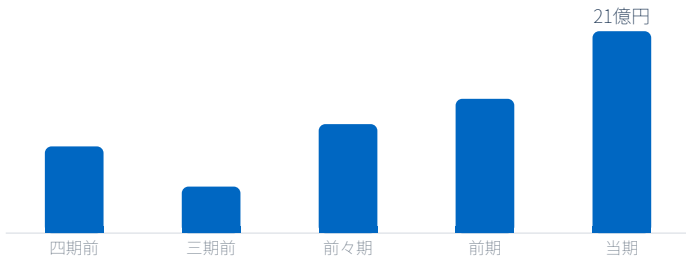
- ・ 営業・開発・マーケティング・経営管理等の優秀な人材確保が課題。
- ・ 内部管理体制強化とコーポレート・ガバナンスの充実が必要。
- ・ 従業員のモチベーション維持・向上に努める。

面接で使えるポイント

- ・ 建設業界99%を占める中小企業への約48万社への市場規模で、テクノロジーによる業界のアップデートに貢献できる成長機会。
- ・ After Usの経営哲学に基づき、中小建設企業の経営課題をCAREECON Platformで解決する事業の意義。
- ・ 2024年問題や労働力不足などの業界課題に対し、生産性向上と働き方改革を支援する社会的役割。

証券コード 460A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
建設業界向けのデジタルソリューションを提供する
情報通信サービス企業

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
53点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 36.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
510万円

情報・通信業内 542位/592社

平均年齢
29.81歳

情報・通信業内 585位/593社

平均勤続
2.83年

情報・通信業内 542位/593社

女性管理職
13.3%

情報・通信業内 198位/373社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

